

# アメリカの医療福祉

倉敷翠松高等学校 天野 聖悟

将来の夢が医療福祉の道に進みたい事もありアメリカの医療福祉についてドクターのホストファミリーに病院見学や色々な話を聞いてきました。

## 病院数

倉敷市(人口約 482000 人 面積 355.63 km <sup>2</sup> )	カンザスシティ (人口 475000 人 面積 823.7 km <sup>2</sup> )
総合病院 約 36 一般診療所 約 303	総合病院 約 20 一般診療所 約 100



アメリカでは病院の中に薬局やドラッグストアが一緒になっていました。お菓子などの食料品もありました。そこに行けば色々なものがあるためか客数も日本のドラッグストアくらいでした。



鮮やかなパッケージの風邪薬・鼻洗浄・便秘薬・リップクリームのコーナー

見学に行った病院は倉敷にもある大きな病院と同じくらいの規模です。色々な場所を見学させてくれました。中の様子は日本と似ている感じでしたが日本でもここまで見学はできないと思います。とても貴重な体験でした。

(撮影の許可が取れませんでした)



病院の中には教会がありました。葬儀で使うのかと思ったらお祈りをする為にあるそうです。アメリカで教会は身近な存在で心のよりどころの話でした。



### 医療費について

アメリカは医療費が高く保険加入するそうです。保険に加入していても医療費が高い事を知りました。

保険種類	提携している病院	提携外の病院	年間保険料 (年齢で変動)
PPO	保険適用	保険適用だが高額請求	約 \$ 3800
HMO	主治医を決め指示に従い保険適用	保険適用外	約 \$ 4800

保険の種類は他にもあるそうですが6割がこの2つの事でした。

日本よりもややこしくてわかりにくかったです。



救急車を呼ぶと数十万円州によって違うとの事  
基本料金+車内での治療+走行距離で  
金額が違うそうです。

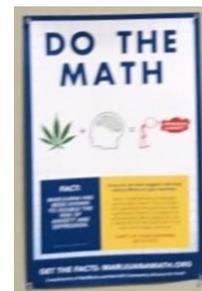
だいたい、自家用車やタクシーで行くそうです。



日本でも増えてきた緊急時 AED 発見しました。日本だと赤色で目立つのですが  
海外では色が違う事を知っておくことも大事だと思いました。消火器もそばにありました。



### 高校の保健室のポスター



現在健康ブームのアメリカのポスター

高校の保健室にドラッグのポスター・・・



最後に医療福祉においてコミュニケーションは大事です。

課題としてコミュニケーション能力を感じたいと思ってカンザスシティに入りました  
街を歩いても店の中や病院内でも知らない人とすれ違う時にあいさつをされます。

親しい人に対してはシェイクハンドもされていました。もちろん笑顔で。

コミュニケーションはどこでも役に立つと思うので貴重な学びを活かしていきたいです。